

和木町子ども・子育て支援事業計画 進捗状況

令和3年度

和木町子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

令和2年度評価資料

和木町では、令和元年度に「第2期和木町子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。本計画では、定めました各子育て支援施策の点検評価を行い、質の高い保育や幼児教育、ニーズに応じた子育て支援事業の実現に向けた、現在の取り組みや内容及びその進捗状況を確認することで、あらたな課題の抽出や効果的な事業展開に役立てるとともに、今後の施策及び事業の見直し・改善に役立てていきます。

（1）教育・保育給付

■1号認定者（3歳～5歳、幼稚園及び認定こども園）

※5月1日在籍児童数（ ）は広域利用者数

単位：人

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
見 込 値	104	106	105	106	123
確 保 方 策	104	106	105	106	123
実 績 値	107(2)	118(4)	104(4)	96(3)	88(6)
評価結果	急激な共働き世帯の増加により1号認定こども数は減少傾向にあります。				
今後の方向性	利用定員の変更				
今後の課題	現状の利用定員は、1号認定者が123人、2号認定者103人の定員設定を行っております。しかしながら、2号認定者の割合が令和元年度より増加しているため、利用定員の再設定を行う必要があります。				

■2号認定者（3歳～5歳、保育所及び認定こども園）

※4月1日在籍児童数（ ）は広域利用者数

単位：人

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
見 込 値	89	91	91	91	116
確 保 方 策	89	91	91	91	103
実 績 値	88(5)	97(7)	101(9)	97(11)	110(9)
評価結果	令和2年度は、2号認定者数は見込値を上回りましたが、和木こども園全体の利用定員に余裕があるため、待機児童の発生はありませんでした。				
今後の方向性	利用定員の変更				
今後の課題	3歳から5歳については、現状受け入れることが可能ですが、今後、複数年度の実績を見据え、和木こども園全体の利用定員設定の見直しを行う必要があります。				

資料3（和木町子ども・子育て会議資料）

■3号認定者（0歳、保育所及び認定こども園、地域型保育）4月1日在籍児童数

※地域型保育は該当なし（ ）は広域利用者数

単位：人

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
見 込 値	15	14	14	14	17
確 保 方 策	15	14	14	14	12
実 績 値	5(0)	6(2)	3(1)	5(2)	2(0)
評価結果	年度当初は利用が少なく、年度末に向け増加していきますので、年度末には全て埋まってしまいます。				
今後の方向性	継続維持				
今後の課題	4月1日時点は、余裕があるように見えますが、年度末には、和木こども園の定員12名は満員となります。今後、ニーズに適應した利用定員を設けていく必要があります。定員を超過した場合は、大竹、岩国に委託保育をお願いしています。今後も委託費用等の予算確保を行う必要があります。				

■3号認定者（1歳から2歳、保育所及び認定こども園、地域型保育）4月1日在籍児童数

※地域型保育は該当者なし（ ）は広域保育対象者

単位：人

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
見 込 値	56	55	54	54	61
確 保 方 策	56	55	54	54	54
実 績 値	48(4)	46(8)	43(8)	53(9)	54(6)
評価結果	4月1日時点では広域保育を除けば実績値は確保方策内の数値となっています。				
今後の方向性	継続維持				
今後の課題	コロナ禍により保育ニーズが大きく変わることも予想されますので、安定的な受け皿の確保が必要となります。 参考：和木こども園の定員は1歳定員24名、2歳定員30名。定員を超過した場合は、大竹、岩国に委託保育をお願いしています。				

参考値

■学校児童数の推移

単位：人

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
和木小学校	427	420	429	418	427
和木中学校	174	181	183	197	192
合計	601	601	612	615	619

各年5月1日現在（学校基本調査）

基本目標1

「地域における子育て家庭に対する支援」

■利用者支援事業

事業内容：子ども又はその保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域子育て支援事業等の情報提供及び必要に応じた相談助言を行い、関係機関との連絡調整等を実施する事業					
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
見 込 値	1	1	1	1	1
確 保 方 策	1	1	1	1	1
実 績 値	1	1	1	1	1
評 価 結 果	保健相談センターに子育て包括支援センターを開設しており、利用者支援事業母子保健型の事業を実施しております。				
今後の方向性	継続維持				
今後の課題	子育てに関する情報をより身近に感じてもらえる工夫が必要です。				

■地域子育て支援拠点事業

単位：人

事業内容：乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業（和木こども園に設置）					
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
見 込 値	465	460	453	446	1,022
確 保 方 策	465	460	453	446	1,022
実 績 値	1,282	1,390	814	860	335
評 価 結 果	いずれの年度においても、利用実績値は高いので、ニーズが非常に高いものという結果になっていますが、令和2年度はコロナ禍で利用上限を設定したため、利用は低迷しました。				
今後の方向性	継続維持				
今後の課題	コロナ禍が収束後には、全ての保護者が集える場所として提供できる体制を整える必要があります。				

■乳児家庭全戸訪問事業（乳児家庭訪問）

単位：人

事業内容：生後3ヶ月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う事業					
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
見 込 値	66	65	63	63	69
確 保 方 策	66	65	63	63	69
実 績 値	75	77	62	63	59
評 価 結 果	すべての家庭を訪問することができています。訪問により情報提供や養育環境等の把握など、必要な支援を提供しています。確保方策の数値内でした。				
今後の方向性	継続維持				
今後の課題	継続維持				

資料3（和木町子ども・子育て会議資料）

■養育支援訪問事業等

単位：人

事業内容：養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保する事業					
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
見 込 値	3	3	3	4	35
確 保 方 策	3	3	3	4	35
実 績 値	19	23	18	42	34
評 価 結 果	養育支援が必要な家庭を把握し、定期的に訪問を行うことができています。適切な養育の実施を確保することが出来るよう、指導、助言を行っています。確保方策の範囲内でした。				
今後の方向性	継続維持				
今後の課題	継続維持				

■子育て短期支援事業（ショートステイ）

単位：人

事業内容：保護者の疾病等の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施設等に入所させ、必要な保護を行う事業					
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
見 込 値	0	0	0	0	7
確 保 方 策	0	0	0	0	7
実 績 値	0	0	0	5	3
評 価 結 果	令和2年度の受入実績のある施設は「はるか」1施設ですが、委託先は「はるか」と「特定認定 NPO 法人とりで」の2団体と契約を結んで事業を行いました。				
今後の方向性	継続維持				
今後の課題	継続維持				

■ファミリー・サポートセンター事業（低年齢及び高学年）

単位：人

事業内容：乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の保護者を会員として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業 です。					
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
見 込 値	0	0	0	0	0
確 保 方 策	0	0	0	0	0
実 績 値	0	0	0	0	0
評 価 結 果	事業を実施していません。				
今後の方向性	事業実施について研究・調査をしていきます。				
今後の課題	事業実施について研究・調査をしていきます。				

資料3（和木町子ども・子育て会議資料）

■一時預かり事業（幼稚園在園児対象1号認定者）

単位：人

事業内容：主に、1号認定子どもが利用している認定こども園や幼稚園で教育時間以外の時間で一時的に預かり、必要な保育を行う事業。和木町では、和木こども園にて実施しています。					
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
見込値	533	549	554	538	105
確保方策	533	549	554	538	105
実績値	242	566	322	140	35
評価結果	共働き世帯の増加により1号認定子ども数が減少傾向にあります。また、新型コロナウイルスの影響により利用者数は減少となりました。				
今後の方向性	継続維持				
今後の課題	継続維持				

■一時預かり事業（在園児対応以外）

単位：人

事業内容：家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、主として昼間において、認定こども園、幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点及びその他の場所において一時的に預かり、必要な保護を行う事業。和木町では、和木こども園にて実施しています。					
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
見込値	428	432	431	422	75
確保方策	428	432	431	422	75
実績値	20	44	76	79	141
評価結果	広島広域において相互の利用協定を締結している、他市町に居住している方も利用（広島広域圏内）することができます。 和木町の方で他市町の事業所を利用した方：46人 19人（大竹市） 27人（岩国市） 参考：相互の利用協定を結んでいる市町 広島県 ・広島市・呉市・竹原市・東広島市・廿日市市・安芸高田市・江田島市 ・安芸太田町・北広島町・大竹市・府中町・海田町・熊野町・坂町 ・大崎上島町・世羅町・三次市 山口県 ・岩国市・柳井市・周防大島町・上関町・田布施町・平生町				
今後の方向性	継続維持				
今後の課題	継続維持				

■時間外保育事業（延長保育事業）

単位：人・（延べ人数）

事業内容：保育認定を受けた子どもについて、通常の利用日及び利用時間以外の日及び時間において、認定こども園、保育所等において保育を実施する事業					
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
見込値	57	57	57	56	118
確保方策	57	57	57	56	118
実績値	37	41	29	182	44（431）
評価結果	見込み量を超える利用者数がありました。				
今後の方向性	継続維持				
今後の課題	継続維持				

資料3（和木町子ども・子育て会議資料）

■病児病後児保育事業

単位：人

事業内容：病児・病後児について、病院・保育所等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育等をする事業。和木町内には事業所はありませんが、広域利用ができるように予算の確保をしています。					
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
見 込 値	0	0	0	0	37
確 保 方 策	0	0	0	0	0
実 績 値	1	24	51	37	5
評 価 結 果	令和2年度実績値：岩国市3人、大竹市2人利用（延べ人数） 和木町には、病児保育を実施する施設がないため、広島広域で相互の利用協定を締結し利用している状況です。 参考 病児保育事業の広域利用ができる市町 広島県 ・広島市・呉市・竹原市・三原市・三次市・大竹市・東広島市・廿日市市・安芸高田市・江田島市・安芸太田町・北広島町・府中町・海田町・熊野町・坂町 ・大崎上島町・世羅町 山口県 ・下関市・宇部市・山口市・萩市・防府市・下松市・岩国市・光市・長門市 ・柳井市・美祢市・周南市・山陽小野田市・周防大島町・上関町・田布施町 ・平生町・阿武町				
今後の方向性	継続維持				
今後の課題	継続維持				

■放課後児童クラブ（放課後健全育成事業）4月1日在籍児童数

単位：人

事業内容：保護者が就労や、その他の理由により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後に小学校の余裕教室、児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を提供し、その健全な育成を図る事業					
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
見 込 値	126	121	115	113	124
確 保 方 策	126	121	115	113	124
実 績 値	101	93	102	107	103
評 価 結 果	利用者の多くを1年生から3年生が占めています。高学年を受け入れるのが年々困難となってきております。人口減少も考慮に入れながら、受入体制を整備していく必要があります。				
今後の方向性	継続維持				
今後の課題	2号子どもの増加が予想されるため、余裕教室や放課後支援員の確保を計画的に行う必要があります。				

基本目標2

「子どもが健やかに生まれこころ豊かに育つ環境づくり」

■妊婦健康診査

単位：人、回

事業内容：妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する下記①～③の健康診査を行っています。					
1 健康状態の把握					
2 検査計測					
3 保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を実施					
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
見 込 値	924	910	882	882	840
対象人数	66	65	63	63	60
検診回数	14	14	14	14	14
実 績 値	974	753	858	718	638
対象人数	70	54	61	60	46
検診回数	14	14	14	14	14
評 価 結 果	妊婦のほとんどが、健診を受診しています。				
今後の方向性	維持継続				
今後の課題	継続維持				

■乳幼児健康診査受診状況

単位：人、%

		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
1 か 月 健診	対 象 者	88	70	68	64	59
	受診者数	78	64	65	62	54
	対 象 者	88.6	91.4	95.6	96.8	91.5
3 か 月 健診	対 象 者	79	83	70	64	58
	受診者数	73	77	67	61	57
	対 象 者	92.4	92.8	95.7	95.3	98.3
7 か 月 健診	対 象 者	74	85	58	68	58
	受診者数	65	81	45	68	59
	対 象 者	87.8	95.3	82.8	100.0	101.7
10 か月 健診	対 象 者	76	80	61	73	57
	受診者数	64	58	53	56	51
	対 象 者	84.2	72.5	86.9	76.7	89.5
1 歳 児 健診	対 象 者	70	92	60	70	62
	受診者数	59	73	59	60	56
	対 象 者	84.3	79.3	98.3	85.7	90.3
評 価 結 果		今後も高い受診率を維持する必要があります。				
今後の方向性		継続維持				
今後の課題		継続維持				

資料3（和木町子ども・子育て会議資料）

■ 1歳6か月児童健康診査受診状況

単位：

人、%

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
対象者	80	73	80	56	68
一般	受診者数	75	67	77	55
	受診率	93.8	91.8	96.3	98.2
歯科	受診者数	75	67	77	56
	受診率	93.8	91.8	96.3	98.2

■ 2歳児歯科健康診査受診状況

単位：人、%

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
対象者	80	65	75	70	0
受診者数	77	62	73	64	0
受診率	96.3	95.4	97.3	91.4	0

※新型コロナウイルス感染症感染防止のため中止

■ 3歳児健康診査受診状況

単位：人、%

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
対象者	75	86	62	74	37
一般	受診者数	68	81	67	38
	受診率	90.7	94.2	101.6	90.5
歯科	受診者数	68	81	67	38
	受診率	90.7	94.2	101.6	90.5

■ 妊婦相談

母子健康手帳交付・妊婦相談の状況

単位：人

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
対象者数	88	77	69	67	67
転入者（再掲）	10	8	5	6	9

■ 離乳食・乳児食教室の実施状況

単位：人

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
参加者数	25	27	27	14	0
離乳食	25	23	20	14	0
幼児食	0	4	7	0	0

※新型コロナウイルス感染症感染防止のため中止

■ 離乳食・乳児食教室開催回数

単位：回

	離乳食教室	幼児食教室
参加者数	0	0

※新型コロナウイルス感染症感染防止のため中止

■ 育児相談の実施状況

単位：回、人

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
開催回数	24	24	24	21	16
初回参加者	119	121	109	106	81
延べ参加者数	297	299	272	261	157

資料3（和木町子ども・子育て会議資料）

子どもの健やかな成長への支援

■不妊治療対策事業

30,000 円を上限に年1回通算5回までの不妊治療の一部助成を行っています。

件数	補助額
6 件	142,060 円

■町外私立保育園等に通う方へ給食費の助成

件数	補助額
19 件	560,074 円

■出産祝金の支給

生まれてきた子ども達の健やかな成長のために、出産祝金の支給をしています。

第1子に 10,000 円、第2子に 30,000 円、第3子以降に 50,000 円

令和2年度は 1,530,000 円を給付しました。

（内訳）第1子 21 人 第2子 19 人 第3子以降 15 人

子どもの健やかな育成を支える個人給付サービスの実施

■中学生以下の子ども達を対象に、必要な医療を安心して受けられ、疾病の早期診断、早期治療を促進し、健康の保持と増進を図っています。

福祉医療費（県制度）			子ども安心医療	合 計
	乳幼児	ひとり親		
対 象 者 数	270 人	92 人	741 人	1,103 人
医療費給付額	6,283,569 円	2,958,799 円	17,334,943 円	26,577,311 円

■任意予防接種助成事業

単位：件

町内の医療機関で予防接種を受ける場合の接種費用の一部を負担しています。

		助成件数	
		令和元年度	令和2年度
ロタウイルス（1 価） 7,500 円／回	1 回目	16	14
	2 回目	17	13
ロタウイルス（5 価） 5,000 円／回	1 回目	40	15
	2 回目	36	17
	3 回目	27	17
おたふくかぜ 3,000 円／回	1 回目	41	35
	2 回目	21	22
インフルエンザ 2,500 円／回	1 歳～小学6年	809	0
	中学1年～2年	35	77

事業額：854,000 円

■学校給食アレルギー対応文書料助成

アレルギー体質で学校に診断書の提出が必要な方に文書料の助成をしています。

令和2年度

件数	補助額
18 件	21,200 円

※内訳 小学生 7 件 就学前児童 11 件

ひとり親家庭等の自立支援の推進

ひとり親家庭医療を山口県と共同で実施しています。

児童虐待防止対策の充実

要保護児童等を支援するため、和木町要保護児童対策地域協議会を8回開催し、情報の共有、支援方法の協議等を行いました。

障害児施策の充実

■相談支援体制の充実 岩国市内3事業所に委託し、相談支援体制の強化を推進しています。

委託費：2,112,000 円

■児童福祉年金の支給

対象者数	支給額
29 人	1,962,497 円

■難聴児補聴器等購入等の助成

対象者数	補助額
0 人	0 円

■岩国市障害児等総合療育相談訓練等事業負担金

岩国市が運営している療育センターの和木町分の負担金として 1,191,000 円を拠出しました。

基本目標 3

こどもの成長を支える教育環境の整備

幼児教育の充実

■和木こども園保育教諭の教育研修

和木こども園保育教諭等が延べ 15 回研修に参加、職員一人ひとりのスキルアップを図りました。

■配慮の必要な子ども達への支援

和木こども園において、7名の加配の職員を配置しました。

■和木こども園・小学校・中学校の連携について

令和2年度については、合同研修会及び ICT 研修会 1 回を共同で実施、和木町コミュニティスクール協議会も3回実施し、園・小・中代表者が参加し、連携を深めました。

就学児童の居場所づくり

■わきっこクラブ（放課後児童クラブ）を18時30分まで開設しています。

※18時以降は延長保育料がかかります。

■放課後こども教室実績値

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により、登録者数、延べ参加人数ともに減少しました。

	令和元年度実績	令和2年度実績
わきあいキッズ	登録者数：82 名（小中学生含む） 実施教室数：60 教室 延べ参加者数：1,585 名	登録者数：65 名（小中学生含む） 実施教室数：61 教室 延べ参加者数：1,379 名

子どもの生きる力の育成に向けた教育環境等の整備

■国際教育の推進

ALT 1 名、国際交流支援員 1 名により、学校及び教育・保育施設等において英語教育活動を行いました。

青少年健全育成の推進

7月12日、子ども環境クリーンアップ立入調査。1月10日に同クリーンアップ活動を実施しました。青少年問題協議会研修会は、新型コロナウイルス感染防止のため中止となりました。

基本目標4

多様な働き方に対応した子育て支援の展開

■広域病児・病後児 利用者数：5名（大竹市・岩国市の施設利用分）

負担金拠出額：42,484 円

■父子手帳の交付件数67件

※妊娠届時に父子手帳を交付しています。

基本目標5

子どもが安全・安心に過ごせる生活環境の整備

安全・安心な道路環境の整備

■和木町通学路安全推進会議

通学路における交通安全を確保することを目的として、7月28日に通学路の安全対策会議を実施し危険箇所を現地調査し、その後の対策等について協議を行いました。

子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進

■令和2年度家庭用防犯カメラの設置事業

防犯カメラ3台の設置に係る費用の一部68,000 円を助成しました。

■防犯パトロールの実施

中学校教員、和木駐在所、PTA と連携し、月1回町内を巡回しています。

■わきスクールガード

令和2年度は、登録者20名がジャンパー、ベスト、腕章を身に着け、日々の児童生徒の登下校の見守りを実施しました。

基本目標6

相談体制の充実

■相談窓口のネットワーク化

保健相談センターに「子育て包括支援センター」を開設し、乳幼児期から出産期までにおける総合的な相談窓口を開設しています。また「和木町面接相談」を教育委員会、保健相談センター、こども園、小学校、中学校と連携し開催。山口県スクールカウンセラー事業、スクールソーシャルワーカー派遣事業を活用し、問題を抱える子どもや、その保護者に対して早期に対応できるようにネットワークの強化を図っています。

子育て包括支援センター 相談件数

	令和2年度
相談件数	74件

■スマイルルームの設置

平成9年4月より専属の教育相談員2名を配置し、フリーダイヤルの開設、教育相談等を行っています。